

## 金杉台中学校跡地を発達障害児童・生徒の学び舎として活用することに関する陳情

令和5年3月31日をもって閉校致しました船橋市立金杉台中学校跡地活用について、地元自治会からの要望をお伝えさせていただきます。

予てより、市担当局へ閉校後は蜘蛛の巣が張ることのないよう早急な対応を求めているところですが、特に強調致したいことが表題の件です。

ADHD, ASD, LD 等発達障害を抱えている、またはその傾向にある児童・生徒の数は30人に3~4人いると言われており、大多数が通常学級で学び社会へ巣立っていくのが現状です。そして、社会人として働く中で違和感を覚え、他人と上手く付き合えず、生き辛さを感じ、転職を繰り返す人も少なくないと聞きます。

そのような方々が、違和感を覚える前に的確な対処が成されていたら、その方の持つ“特性”を早期から伸ばす教育を受けていたら、雇用も広がり、安心・安定した生活を送ることができるのではないかと思うのです。その特性を活かした働きが叶えば、社会の発展に寄与する貴重な存在ともなるでしょう。

市内の発達障害児童・生徒数を知る術を私たちはもちません。ただ、その方々が、安心して、ありのままの自分で学びを深められる“場所作り”を提案させて頂くことならできます。

金杉台団地は、船橋駅からも遠く交通の便も良いとは言い難いですが、緑多く、交通量も少なく、閑静な環境は、落ち着いて学ぶにふさわしいものと自負しております。

何卒、この環境下にある“元学校施設”を社会貢献の場として有効活用して頂きたく、ここに表題の通り陳情させていただきます。

以 上